

2023年9月26日（火）

第2回サイエンスダイアログ報告

（受講者：2年生理数コースの生徒）

今回は京都大学より Dr.Md.Habibur 氏をお招きしました。

Dr. の研究内容である「持続的森林管理による貧困と紛争の解決：ロヒンギャ難民とホストを事例に」についてや出身国バングラデシュの概要について英語で講義を受けました。難民の生活を支える燃料として木材が大量に使用されること（時には違法に伐採されていること）で環境破壊や二酸化炭素排出増が起きているという問題があり、代替燃料として草木（成長の早い竹など）の利用や燃焼効率のよいLPガスの使用促進などが問題解決につながることを知りました。政治経済問題と共に環境問題についても考える大切さを実感することができました。環境問題は国境を越えた地球規模の案件であることを忘れずにいたいと思います。

（サイエンスダイアログとは独立行政法人日本学術振興会の制度を利用し、大学や研究機関で活躍する外国人研究者による講義を聞き、研究への関心や国際理解を深める講演会です。）

